

経営比較分析表（令和2年度決算）

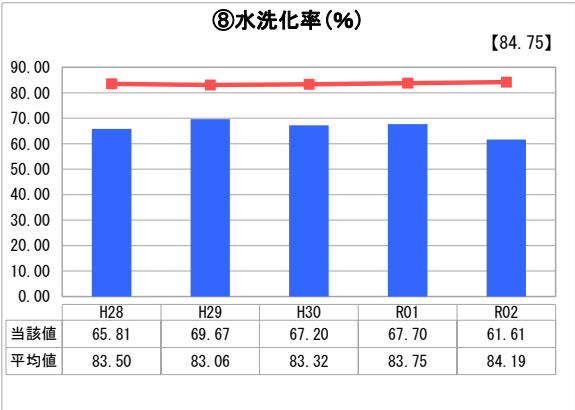
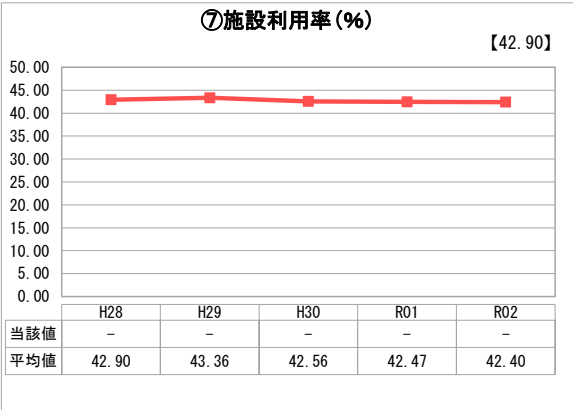
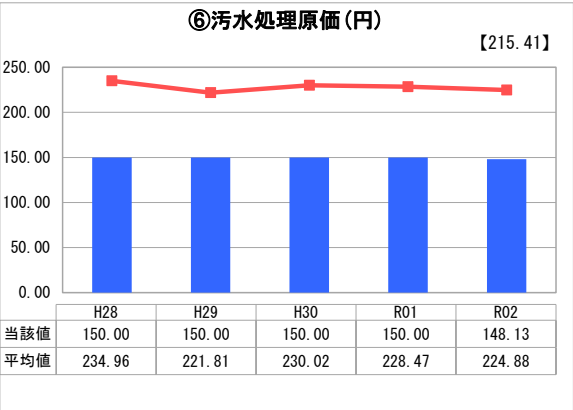
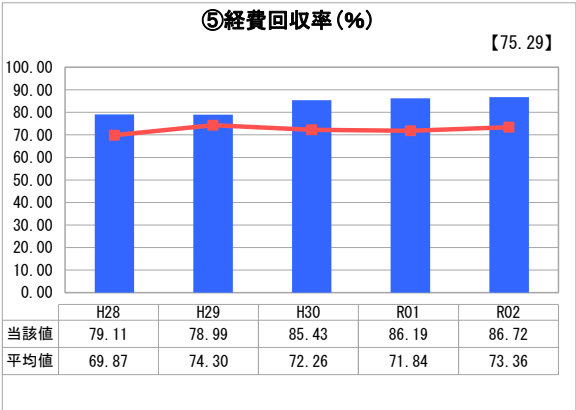
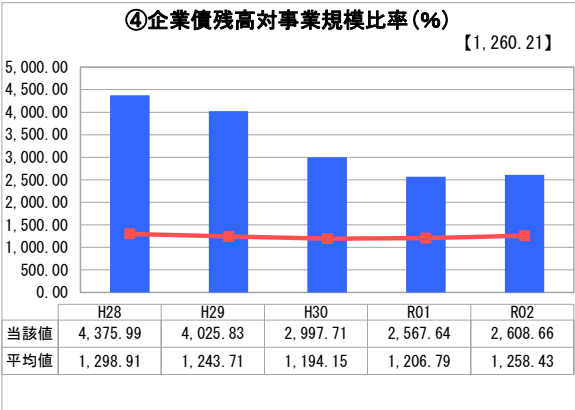
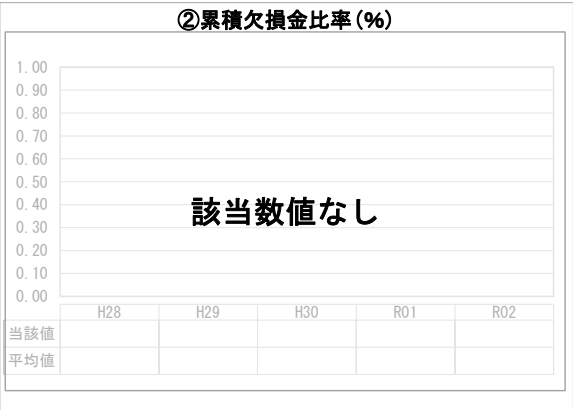
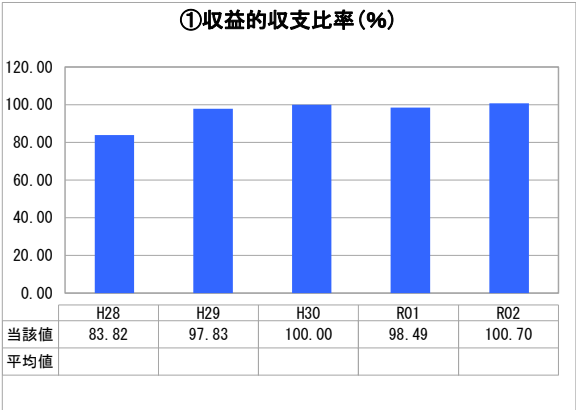
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14. 86	96. 63	2, 145

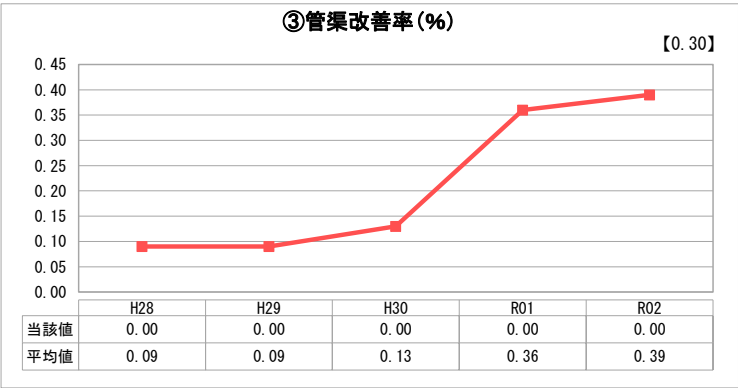
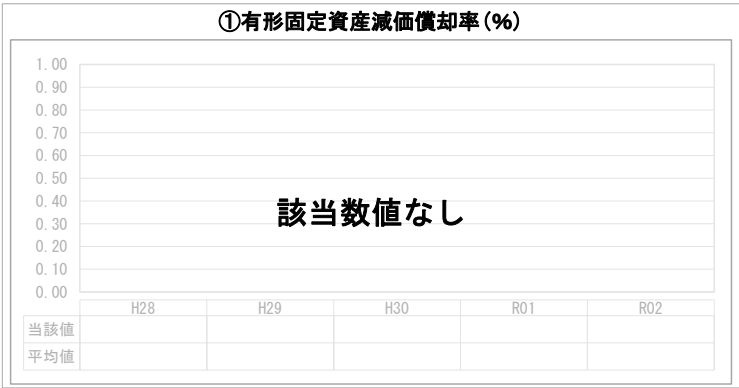
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18, 654	38. 64	482. 76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2, 753	1. 16	2, 373. 28

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
流域下水道維持管理負担金減少による維持管理費の減少で総費用が減少したことにより、わずかに比率が上がり100%を超えた。
- ④企業債残高対事業規模比率
減少傾向にあったものの、令和2年度はわずかに増加に転じた。これは主に一般会計負担額の減少によるものである。
- ⑤経費回収率
使用料収入及び汚水処理費に大きな変化がなく、比率にほとんど変化がない。
- ⑥污水处理原価
ほぼ横ばいで推移している。令和2年度は有収水量の増加によりわずかに減少した。工場等の大口使用者が少なく、新型コロナウイルス感染症拡大防止として一般家庭の在宅時間が増したことが、有収水量の増加に繋がったと考えられる。
- ⑧水洗化率
令和元年度と比べ6.09%減少した。これは、令和2年度に新規に供用開始した区域があるためである。

2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られないが、20から30年後には管渠の老朽化が生じてくると思われる。これに備えて今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努める。

全体総括

収益的収支比率、経費回収率及び污水处理原価は昨年度とほぼ同じである。企業債残高対事業規模比率は昨年度と比べ微増した。経営状況の悪化は見られないが、今後も接続促進や経費節減を行い、計画的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。